

## 新たに2件の文化財が町指定となりました。

6月5日開催の定例教育委員会において、新たに2件の文化財が町指定文化財に指定されました。いずれも、石川町の歴史・自然を語るうえで大変貴重な財産です。今後とも、町民の皆さんとともに、大切に守り伝えて行きましょう。

### こうと じもくぞう じぞう ぼさつ ざぞう 光渡寺木造地藏菩薩坐像

●所在地：石川町大字板橋字沢古屋 319 ●種別：彫刻 ●員数：1体

高さ 52cm、カヤ材を前後に貼り合わせた奇木造の手法でつくられています。

つくられた時期は、南北朝時代（1336年～1392年）と考えられます。石川町にはこの時代の仏像は数体しかありませんので、本町の歴史上、貴重な仏像彫刻と言えます。

また、本像は古殿町西光寺本尊の木造地藏菩薩坐像（県指定重要文化財）と作風・技法が共通しています。西光寺の仏像は、中央仏師である円派仏師によってつくられたものです。このことから、本像も円派仏師によってつくられた可能性が高く、美術的にも価値の高い貴重な文化財です。



▲光渡寺木造地藏菩薩坐像

### しおがま じんじゃ じゅそう 塩釜神社のアカガシ樹叢

●所在地：石川町字当町地内 456 - 1、459 - 1 ●種別：天然記念物 ●員数：5本

塩釜神社には、神社正面にある大木をはじめ、境内裏に4本のアカガシがあります。これらは、植栽された大木から実生し、樹叢（木が群がっている状態）を形成したものとされます。

福島県内では浜通り地方にアカガシの分布が見られますが、中通り地方での分布は珍しいと言われており、塩釜神社のアカガシは分布域の北限として、植物学上貴重な天然記念物と言えます。

なお、5本中、最も大きい神社正面にあるアカガシは、樹高 18.5m、幹周 4m、樹齢 300年（推定）の巨木であり、福島県の「緑の文化財」に指定されています（緑の文化財登録第 230号）。また、境内裏の4本についても、幹周りが太い大径木で、見事な林を見ることが出来ます。



▲樹齢 300年を超える見事な巨木